

らくちん、極まらない東京での生活

2017年9月4日

便利さを積み重ねた50年

- 1950年頃、三種の神器(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)が普及、1960年代は高度経済成長がつづき、1964年には東京オリンピックが開催、高速道路・新幹線などの社会インフラが整備された。
- 1961年以降、国民皆保険が始まり、人々は気楽に医者を選択し、健康管理がしやすくなった。
- 1966年にマイカーブームがはじまり、1970年にはエアコンが普及し始めた。1970年は外食産業元年ですかいらく・ケンタッキーフライドチキンが1972年にはマクドナルドが銀座に一号店を出店。ダイエー・西友などの大型スーパーが全国展開を開始。
- 1974年に、セブンイレブンが東京豊洲に1号店を出店、1983年の全国でのコンビニの数は6308店、2016年には5万7818店に達し、国民生活に欠かせないインフラとなっています。2004年の段階でコンビニの8割が24時間営業。
2017年現在、セブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの3勢力に集約。
- 1976年 クロネコの宅急便がスタート、現在は通販と共に国民生活には欠かせないインフラとなる。
- 1990年以降、インターネットの拡大と共に通販が発達(生鮮食品から大型電気製品までカバー)、1997年に楽天市場創業。
2009年、アマゾン当日配送サービス開始
- 1993年にパソコンのインターネットが始まり、2001年には電子マネーEDY本格運用。
2002年にはインターネット利用者、人口の50%を越えた。2015年の人口普及率は83%。1億人の利用者数となる。
- 2007年、PASMOサービス開始、Suicaとの相互利用で首都圏を一枚のカードでカバー。70歳以上のシルバーパスは好評。
- 2008年7月、日本市場にはじめて、iPhoneがデビュー、翌年にはドコモもスマホを発売。2016年6月のスマホ利用率は72%、2%生活に欠かせないツールとなっている。ワイファイも普及し電車内でもネットに接続でき便利。

24時間営業のコンビニ

トイレ・銀行ATM
振込・100円コーヒー

スーパーが
近くにある

ドラッグストアが
近くにある

通販・宅配便の普及

1997年に楽天市場創業
2009年、アマゾン当日配送サービス開始

医療施設が近くにあり
自分で医者を選べる

スマホ・パソコン
インターネットの普及

電話・メール・電卓・ナビ・地図
ニュース・新聞・テレビ・ラジオ・ビデオ
天気予報・温度計・湿度計
カメラ・時計・ライト・時刻表・交通情報
為替・株価情報と取引
ネット検索(百科事典)
通販・ゲーム・ミュージック

自販機がいたる
ところにある

100円ショップが便利

公共交通の普及

バス・地下鉄・電車・タクシー
道路網

PASMO普及
カーシェア

電動アシスト自転車

トイレ環境の改善

ウォシュレットの普及
公共トイレの改善
(コンビニ・駅・公園他)